

コンサルタントから技術講習生として

株式会社三祐コンサルタンツ

光安 麻里恵

私は 2017 年から技術講習生として、水利工学研究領域水利システムユニットの樽屋ユニット長の下で受け入れてもらっています。実は、当ユニットにはこれまでも弊社社員を受け入れてもらっており、私で 5 代目、10 年以上続いている制度です。先輩方は 2〜3 年、技術講習生としてここで日本全国の水利システムについて学び、会社に戻ってからはその経験を日々の業務に存分に活かしています。

こちらに来る前は農業土木分野のコンサルタントとして、名古屋の本社で用水排水計画の策定業務などに携わっていました。コンサルタントの仕事は、目の前の課題に取り組むことが多いのですが、研究はもう少し大局的な視点が必要となります。ここで培った知識は勿論、そういった物の考え方をこれからの仕事で活かしていければと思っています。

現在は当ユニットに現場からの依頼で舞い込んでくる、水利システムの課題（管理が大変！、設計基準にない複雑な施設だけど水は流れるかな？など・・・）について学ぶ機会をいただいています。打ち合わせに出たり、実際に現場に行ったりはもちろん、水理模型実験を見学させてもらったりもしました。他ではなかなか見られないような大規模（30 m×35 m！！）な模型もあり、貴重な経験です。



水位計設置のお手伝い中

また、隔週で樽屋ユニット長を先生として、ユニットの若手でゼミを開催しています。海外の水利システムに関する文献（もちろん英語）を訳し、読み解いています。日本とは違い、大規模な水路だったり対象が畑地だったり、ただ読んでいるだけではわからないこともあり、想像を膨らませながら格闘しています。先日はフィールドワークの一環で、研究所周辺の土浦用水を見学しました。改良区や施設管理者の方々から日々の苦勞などを伺うことができました。じつは、農研機構で実験や栽培に使用されている水もここから来ています。その地域だけでなく、研究を通して日本全国に貢献している用水とも言えます。

今回、初めて茨城に住み、期間も限られているため、休みの日は県内や千葉方面に遊びに行くようにしています。最近は幕張に野球観戦（千葉ロッテ対福岡ソフトバンクホークス）に行きました。もっとも、私はホークスファンなので、アウェーでの応援となりましたが。結果は……。次回、頑張ります。